

# さがえ

市議会だより

No.127

2015年10月20日



## ものづくり体験教室

7月30日に開催された、寒河江工業高校生徒による小学生高学年を対象にした「ペットボトルイルミネーション」作りの体験教室の様子です。

- 発行 寒河江市議会
- 編集 さがえ市議会だより編集委員会

この市議会だよりの用紙は再生紙を使用しています。

# 9月定例会

9月定例会は、9月1日から18日までの18日間の会期で開かれ、表彰1件、平成26年度各会計決算の認定11件、補正予算3件、条例改正4件、その他1件および請願2件の合計22案件を審議した結果、20案件を原案のとおり同意、認定、可決し、請願は、1件が不採択、1件が継続審査となりました。



## 同意

◇市表彰

- △地方自治の進展に貢献▽  
那須 稔さん(寒河江)
- 川越 孝男さん(高松)
- 新宮 征一さん(寒河江)
- 高橋 勝文さん(寒河江)
- 鴨田 俊廣さん(高松)
- △産業経済の振興に貢献▽  
大沼 保義さん(寒河江)
- △保健衛生の向上に貢献▽  
伊藤 一晴さん(寒河江)

## 報告

### 財政の健全化判断比率

実質公債費比率(注1)

12.1%(25%)

将来負担比率(注2)

77.5%(350%)

※(一)内は早期健全化基準

(注1)一般会計が負担する公債

費等の標準財政規模(市

税や普通交付税などの合

計額)に対する比率

(注2)一般会計が将来負担すべ

き実質的な負債の標準財

政規模に対する比率

## 議案等に対する 主な質疑

市個人情報保護条例の一部改正について

議員 目的外利用のできる大きな災害規模とは。

答弁 マイナンバー法9条4項にある激甚災害が発生した時その他これに準ずる場合を適用します。

市手数料条例の一部改正について

議員 住民基本台帳カードと個人番号カードの違いは。

答弁 電子カードの購入原価相当額、ICカード購入原価3000円の差と理解しています。



個人番号カード(イメージ)

## 第2回臨時会

7月9日第2回臨時会が開催され、固定資産税の課税誤りに伴う賦課事務事業費および住宅建築推進事業費に関する一般会計補正予算、過年度更生に伴う国民健康保険特別会計補正予算、過年度更生に伴う国民健康保険特別会計補正予算、条例の一部改正等の議案を審議しました。

## 議案に対する 主な質疑

一般会計補正予算(第2号)

議員 住宅建築推進事業費は、早い時期での予算消化となったが、一件平均の補助額と工事種類は。

答弁 一件20万円で、水周り、屋根、外壁等のリフォーム工事が主になります。

議員 税の還付についての法的対応について。

答弁 最長18年の方もいるので、民法による5年と市の還付要綱を10年から15年に改正して対応します。

## 第2回臨時会の提出議案と採決結果

議案番号	議案名等	採決結果
議第49号	平成27年度寒河江市一般会計補正予算(第2号) 賦課事務事業費および住宅建築推進事業費4,865万8千円を追加するもの	全会一致で可決
議第50号	平成27年度寒河江市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 過年度更生に伴う保険税還付金および加算金280万円を追加するもの	全会一致で可決
議第51号	寒河江市長等及び一般職の職員の給与の特例に関する条例の一部改正について 固定資産税の課税誤りに対する市長、副市長の給料を減額するもの	全会一致で可決

## 予算特別委員会

### 議案に対する 主な質疑

#### 一般会計補正予算(第3号)

**委員** まち・ひと・しごと事業の具体的な内容は。

**答弁** シティセールスの観点から、寒河江の魅力を広報する広告料およびまちづくり関連調査事業として計上したものです。

**委員** ふるさと納税の3億円は、前年と比べてどうなのか。

**答弁** 平成26年度ではおよそ2千7百万円ですので、10倍以上の大幅な増加になります。

**委員** ふるさと納税の返礼品の選定方法は。

**答弁** ふるさとの地域資源を使ったものを主にし、地元の協力事業者を広く求め、選定しております。

**委員** 結婚支援の報償費として50万円補正されているが、現在何組が決まっている、今後の見込みは。

**答弁** 当初、4組分の40万円を計上し、全て執行しております。今回5組を見込み、既に2組の話があります。

**委員** 中学校の空調設備とは、どのような内容か。

**答弁** 中学校3年生の普通教室および特別支援学級についてエアコン整備の実設計を行うものです。合計で37台の整備を予定し、平成28年度の夏休みには工事に入りたいと考えています。

**委員** 耐震化する学校は。  
**答弁** 耐震化の対象は、体育館の照明およびバスケットゴール等で、すべての小中学校が該当します。

## 決算特別委員会

### 議案等に対する 主な質疑

#### 委員長等の互選結果

**委員長** 阿部 清  
**副委員長** 古沢 清志

#### 平成26年度一般会計決算

**委員** 市債を67・4%に減らし、実質公債費率は市長就任時の16・8%から12・1%になっているが、どこまで減らす予定か。

**答弁** 具体的目標は立てていませんが、12%位になると県内13市で中位になります。一段と健全化に向かって努力する必要があると考えています。

**委員** 雇用対策事業の180万円の委託料というのは、高校生のインターシップと思うが、これは何年くらいやっていて、効果はどうだったか。

**答弁** 高校2年生を対象にしたインターシップが主なもので、平成15年度から

始めた事業です。平成26年度44社に85人が就業体験を行い、就職活動に大いに役立っているものとおもっています。高校3年生や就職した方については、職場定着という意味で効果があるものとおもっています。

**委員** 都市と農山村交流促進事業に20万円計上されているが、その内容と成果は。

**答弁** 都市と農山村交流促進事業協議会に負担金を支出しており、協議会では早稲田大学や東京農業大学の学生との交流事業に活用しています。特に、早稲田大学については、田代地区の方と交流を深めながら、寒河江市の将来に向けての提言や地域の活性化に伴う提言などいろいろな形で行っていた聞いています。

**委員** 農産物ブランド化推進事業に970万円計上されている。さくらんぼ、つや姫以外の作物はどういうものを推進しているのか。

**答弁** 園芸農業活性化というものも1つの目的に入っており、枝豆や野菜関係の

作業機械、また、谷沢梅などの伝統野菜等の普及にも取り組んでいます。

**委員** 葉山高原牧場は、平成25年で終わっている。将来的にどうしていくのか。

**答弁** 国から借用している用地もあり、借用している間は、維持管理に伴う機械のメンテナンス等に費用がかかり、また、国に返還する際は現状復帰することになるため、構築物等全て撤去し、加えて造林をしなければならず、かなりの経費がかかることから、現在の有効利用に向けて検討しています。

**委員** 市立病院前の山西米沢線の工事の進捗状況は。

**答弁** 平成29年度完成を目指しています。現在第1工区天童大江線からうろこやさんのところまで事業を進めており、第2工区についても測量、設計が終わり一部用地取得交渉に入る計画です。

**委員** 国保特別会計への繰出金の約2億4千万円の根拠は。

**答弁** 保険基盤安定繰入、出産一時金、その他繰入金等、軽減世帯や年齢構成などにより、それぞれ算定ルールに基づいて算出しています。さらに、市独自のものとして保険財政基盤強化分を加算しています。

**委員** 災害救助費について、寒河江市に避難して受給している方は小中学生29名と聞いているが市単独で支出しているのか。

**答弁** 山形県被災児童生徒就学支援事業補助金として補助率100%の交付を受けています。

**委員** 高齢者寿賀祝品の報償費は、どのような内容か。

**答弁** 数え年百歳になった方に賀詞と10万円を差し上げており、昨年は16名です。

**委員** 島などにある特定廃棄物の放射能は6800ベクレルに下がったことで一般廃棄物として処理できると思うが、国への申し入れはしているのか。

**答弁** 国で指定している以上、指定解除がないと基準値の8000ベクレル以下

でも一般廃棄物としては扱えないため、県からも国に要望してもらっています。

**委員** 衛生費の特定不妊治療費の助成事業の対象件数とその効果は。

**答弁** 延べ36件、出産に至った方は6名です。

**平成26年度後期高齢者医療特別会計決算**  
**委員** 健康診査等事業の健康診査の対象者は。

**答弁** 保険者数6903名から長期入院者と施設入所者を除いた6456名を対象としています。そのうち受診者は756名です。

**平成26年度公共下水道事業特別会計決算**  
**委員** 公共下水道がとおっているのにまだつないでいない家庭は現在どれだけあるのか。また、出来るだけ早くつないでもらうための方策はとっているのか。

**答弁** 平成26年度末現在、水洗化普及率は全戸比92.1%です。ダイレクトメール、電話、訪問によりできるだけ早くつないでいた、たくようお願いします。

**委員** 浄化槽整備も4年目になるが、これまでの浄化槽の設置数は。

**答弁** 平成24年度が42基、平成25年度が58基、平成26年度が51基で、本年度は40基弱を見込んでいます。

**平成26年度市立病院事業会計決算**  
**委員** 経営健全化は喫緊の課題と認識している。現在保有する医療資源を最大限活用しとあるが、活用できるような方策を持ち合わせているのか。

**答弁** 病院施設のみならず医師等人的資源を含めて、保有する資源をいかに活用するか、健全化に結び付けていくためにどうするか、健全化に関する組織を作って取り組んでいます。

**委員** 市内にかかわらず、高齢者の介護施設と市立病院との連携の現状は。

**答弁** 療養病棟への入院、大腿骨頸部骨折患者の連携パスによる他病院、施設からの受け入れといった連携を地域連携室を窓口として実施しています。

## 9月定例会の提出議案と採決結果

議案番号	議案名等	採決結果
議第52号	表彰について 市表彰条例に基づき7名を表彰するもの	全会一致で同意
認第1号	平成26年度寒河江市一般会計歳入歳出決算の認定について	多数で認定
認第2号	平成26年度寒河江市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致で認定
認第3号	平成26年度寒河江市浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致で認定
認第4号	平成26年度寒河江市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致で認定
認第5号	平成26年度寒河江市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	多数で認定
認第6号	平成26年度寒河江市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	多数で認定
認第7号	平成26年度寒河江市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	多数で認定
認第8号	平成26年度寒河江市介護認定審査会共同設置特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致で認定
認第9号	平成26年度寒河江市財産区特別会計（高松、醍醐、三泉）歳入歳出決算の認定について	全会一致で認定
認第10号	平成26年度寒河江市立病院事業会計決算の認定について	全会一致で認定
議第53号	平成26年度寒河江市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	全会一致で可決及び認定

議案番号	議案名等	採決結果
議第54号	平成27年度寒河江市一般会計補正予算（第3号） 基金管理事業費等の追加およびまち・ひと・しごと創生事業費の計上等により、5億6,999万5千円を追加するもの	全会一致で可決
議第55号	平成27年度寒河江市国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 前年度決算等に伴う基金積立金、療養給付費等負担金などの精算に伴う償還金等1億5,456万1千円を追加するもの	全会一致で可決
議第56号	平成27年度寒河江市介護保険特別会計補正予算（第1号） 前年度決算等に伴う基金積立金および介護給付費等の精算に伴う償還金等3,743万2千円を追加するもの	全会一致で可決
議第57号	寒河江市個人情報保護条例の一部改正について 特定個人情報の取扱い等について所要の改正をするもの	多数で可決
議第58号	寒河江市職員の再任用に関する条例の一部改正について 共済年金が厚生年金に統一されることに伴い、所要の改正をするもの	全会一致で可決
議第59号	寒河江市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部改正について 医師の非常勤職員報酬の改定に伴い関係職の報酬日額の改正をするもの	全会一致で可決
議第60号	寒河江市手数料条例の一部改正について 行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、手数料の種類および金額について所要の改正をするもの	多数で可決
議第61号	市道路線の認定について 寒河江公園アクセス線を市道に認定するもの	全会一致で可決
請願第10号	安全保障関連二法案について真摯で慎重な審議を求める請願	少数で不採択
	請願第9号（原子力発電所再稼働の中止を求める請願）を閉会中の継続審査とすることについて	多数で可決

## 賛否表（9月定例会）

（下記以外は全議員による全会一致で同意、認定および可決されました。）

議案名等	議員氏名等															
	2 古 沢 清 志	3 佐 藤 耕 治	4 渡 邊 賢 一	5 伊 藤 正 彦	6 遠 藤 智 与 子	7 太 田 芳 彦	8 石 山 忠	9 阿 部 清	10 沖 津 一 博	11 辻 登 代 子	12 工 藤 吉 雄	13 柏 倉 信 一	14 木 村 寿 太 郎	15 内 藤 明	16 杉 沼 孝 司	
認 第 1 号 平成26年度寒河江市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認 第 5 号 平成26年度寒河江市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認 第 6 号 平成26年度寒河江市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認 第 7 号 平成26年度寒河江市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議 第 57 号 寒河江市個人情報保護条例の一部改正について	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議 第 60 号 寒河江市手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請 願 第 10 号 安全保障関連二法案について真摯で慎重な審議を求める請願	×	×	○	×	○	△	○	×	△	×	△	○	×	○	×	
請願第9号（原子力発電所再稼働の中止を求める請願）を閉会中の継続審査とすることについて	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	

○は賛成 ×は反対 △は棄権



太田 芳彦  
議員

## 今年のおくらんぼ全般について

今年も春先の天候不順により、実の付き方が安定しないため、地域によって収量の差が生じたようだが、今年のおくらんぼ全般について伺いたい。

①作柄調査委員会による収穫量の予測では、「平年並み」とのことであったが、今年の作柄について  
②他市と比較して、観光さくらんぼ園への入園者数はどんな結果になったのか。

③雇用の面で各農家が苦労したと新聞等に掲載されたが、収穫量、品質を守るためにも対策が急務と思われるが、市の対応について。

市長 ①寒河江市の作柄については減収となっており、JA扱い出荷数量で昨年比べて89%となっています。主な原因は、4月の霜害によるものと考えています。

②入園者数は17万1700人で、東根市、本市、天童市の順となっております。

③労働力の確保として、あぐりヘルパー募集や大学生の体験学習、高所作業車への支援で効率化を図っています。今後も新たな施策等を検討してまいります。

## ゆめタネ@さがえについて

6月6日～7月5日まで1か月にわたり数々のイベントが行われたが、成果について伺いたい。

①入場者数と要因について。  
②500発の花火が打ち上げられたが、増発できないか。

市長 ①31万1423人の入場者数で、前年比4万2608人の増となりました。増加の要因は、遊具や花の充実とさくらんぼの祭典を同会場で開催したことによるものと思っております。

②増発については、今後チェリークア・パークの協力企業をはじめ民間事業者からの御協力も含めて検討してまいります。



水面に映る大輪!!



沖津 一博  
議員

## 人口減少と住環境について



サンヨ一缶詰跡地

①新たな住宅団地造成により、人口減少の歯止めと住環境整備のため、島北住宅団地を造

成し、みなみ保育所を新築移転、跡地には曙町の通り抜けできない道路を南北に抜き、残りを公園、冬は雪捨て場などの総合的な住環境整備をしてはどうか。

②サンヨー缶詰跡地が現在更地になっっているが、狭くなっている市道の幅を広げてから開発するようすべきと思うが。

③中央工業団地内にモータープール(トラック待機場所)を作り、運転手が安全に過ごすと共に企業誘致に弾みを付けてはどうか。

市長 ①住宅政策は、重要な課題です。都市計画マスタープランの見直しの中で、住宅団地の規模や場所について検討してまいります。仮に保育所を移転した場合の跡地の活用については、地元の利便性などに配慮して総合的に検討していくことになると思います。

②開発予定者と協議しているところであり、開発行為に合わせて市道拡幅の事業に着手できると考えています。

③トラック待機場所は、運転手の安全面や路上駐車解消のためにも必要なもので、設置について検討を進めていきたいと考えています。

## 生活困窮者自立支援法について

この制度は、各自治体の熱意や体制整備によって大きな差が生まれているが、早期発見のため、関係機関との連携、相談状況、今後の取り組みについて伺います。

市長 今年4月から健康福祉課内に「生活自立支援センター」を開設し、専任の相談員が市役所内の関係課やハローワーク等と連携して、生活困窮者からの相談にワンストップで対応しております。



佐藤 耕治  
議員

## 農業の振興について

①食と花の重要性について

まちづくりのスタートは農業の振興から、元気な人間を育てるため「食は身体の栄養」「花は心の栄養」と市民の健康寿命を延ばす方策を推進したいと考えますが。

②農業の基本的な構想について

農業者の減少と高齢化により厳しい現状にあり、労働力の確保が課題となっております。今後の基本的な構想について。

③農産物の販路拡大と農工商連携について

農産物の価格低迷により生産意欲の減退が心配されます。生産の持続可能な販売価格と付加価値による有利販売に向けた取り組みを市内の優秀な事業者や企画、営業、加工、販売専門職の方々の農工商連携を推進し発展させては。

市長 ①本市では、農業が重要な基幹産業であります。加えて多くの業種がバランスよく発展する



ことが重要と考えております。また、花によるまちづくりについては、市民の皆さんとのパートナーシップによる様々な取組を行っており、これからも心の潤いと安らぎを感じていただけるようなまちづくりを目指してまいります。

②基本的な構想としては、高齢化と担い手不足等の課題を受け止め、担い手農家への更なる支援や新規就農者の育成確保を図るとともに、本市農業をけん引できる長期的な戦略も検討してまいります。

③農工商連携については、農業の新たな可能性と、農業所得の向上に向けた重要な課題であります。本市に合った6次産業化について検討する組織を設立し、課題の分析や各業界との意見交換など具体化に向けて研究してまいります。



伊藤 正彦  
議員

## 悠久の里慈恩寺振興への市としての取り組みについて

日頃から悠久の里慈恩寺の振興について市としてご配慮・ご尽力いただいていることに対し、醍醐地区住民を代表して厚く御礼申し上げます。更なる振興のため次の事を伺います。

①25年度から本年度まで3年間の秘仏展、秘仏御開帳を実施した成果、拝観者、観光客の数及びその評価は。

②この評価を受けて、当局として考える課題と対策は。

③これまでの活動は、地元を中心としたボランティアの方々の力に頼って実施されてきたが、地元でどういった体制が作れるか、人的貢献面で当局ができることはないのか。

④周辺環境整備について、インフラの整備をどのように考えているか。当局としても実態を把握し、地域からの要望を待たずに実施できることは実施すべきと考えますが。



どうか。

市長 ①25年度から3か年の拝観者数は1万5738人、3万5274人、1万2651人、年間観光客数は、25年度は22万4600人、26年度は39万6200人です。山形デスティネーションキャンペーンのほか、国史跡指定、「出羽名刹三寺まいり」によるものと思っております。

②受入態勢整備やおもてなしの充実が急務と考えています。

③市では今年度、醍醐地区集落支援員を配置し、悠久の里慈恩寺運営委員会の事務局として活動いただいております。今後とも地元の方々の御協力をいただきながら慈恩寺振興に取り組んでまいりたいと考えています。

④市としても国の史跡指定を受けた慈恩寺の振興を重点プロジェクトに掲げて取り組んでおりますので、できるだけ早めにご検討していただきたいと考えています。



工藤 吉雄  
議員

慈恩寺本堂茅葺屋根補修について

見てもらいたい建築物の一つ、慈恩寺本堂。1618年山形城主最上氏の再建で重厚な茅葺屋根の入母屋造り。雪が多く屋根の傷みが激しく、でこぼこ屋根になるのが早い。観光客の皆さんに茅葺屋根の重厚な本堂を楽しんでもらいたい。補修は毎年一部ずつ実施されてきたがそれ以上に傷みの面積が広く、傷みに補修が追いついていないので、毎年の点検補修面積を拡大できないか。これにふるさと納税の活用はできないか。

**教育長** 本山慈恩寺で大規模な屋根改修の検討を始めていると聞いており、今後、本山慈恩寺の意向を踏まえ、国、県に相談しながら支援してまいります。屋根改修が国の補助事業として採択を受け、それに県や市が補助する場合、市の補助財源にふるさと納税を活用することは可能であると思われるますが、国、県の指導も得ながら検

討する必要があります。

醍醐小学校跡地に  
市道とミニパーク造成を

慈恩寺蓮を応援、見てくださる人々にやさしい場所を提供する。市道下道鬼越線と接続生活道と県道日和田松川線を小学校跡地内で小駐車場付きの道で結び、ミニパークとする。周辺生活道を跡地と県道利用の環状化はできないか。市長 この地域の3つの市道路線をつないで環状化が図られれば利便性は高まると思います。新たに用地を確保する必要があるなどの課題もありますが、できるだけ地元の要望を充分踏まえながら検討していきたいと思えます。



醍醐小学校跡地と蓮池



遠藤智与子  
議員

住宅リフォーム助成制度の充実について

この事業は、平成22年度から百億円を超える経済波及効果をあげてきた優れた制度です。今年度から複数回の利用ができるようになり、補正予算もあつという間に使果たされたが、その実施状況について伺います。

- ①複数回利用した件数・工事内容について
- ②今後の予算の増額について
- ③昨年提案した「商業者への店舗リフォーム助成」の創設はどう検討されたか

**市長** ①全体の申請件数が231件で、そのうち複数回の利用は46件です。工事内容は、新築が2件、増改築が1件、リフォームが43件です。  
②来年度に向け、商工会建設部会などの皆様からもご意見を伺いながら検討してまいります。  
③有効な国の制度の周知を図り、市の空き店舗対策支援事業の対象

を店舗等の改修費に拡大するなど、支援してまいります。

運転免許証自主返納高齢者への  
サポート事業について

運転免許証を返納した高齢者が、買い物などに不便を感じています。タクシード補助などサポート体制をとっている自治体が増えていきます。

本市でも一回きりでない持続的な支援制度の導入を検討してはどうか。

**市長** 高齢者の閉じこもり防止や高齢者の社会参加の促進が課題となっており、その中で高齢者の交通手段の確保に取り組みが必要であると考えております。具体的な取り組みとして、市内循環バスの運行や、運転免許の自主返納者には、タクシーあるいは運行予定の市内循環バスの運賃補助等について検討してまいります。





古沢 清志  
議員

## 聴覚障がいに関する 助成金について

軽度難聴や片耳難聴など早期に補聴器を装着する事で、言葉の発達や、コミュニケーション能力を高める事ができます。聴覚障がいを抱える家庭にとっては、大きな負担となっております。

①難聴児の補聴器の助成金制度について。

②図書館にはデイジー図書を、特別支援学級にはデジタル教科書を導入することについて。

市長 ①身体障害者手帳を有する重度の難聴児には、国の制度により補聴器の購入助成が行われております。

また、身体障害者手帳の交付基準に該当しない、軽度または中等度の難聴児には、「軽度・中等度難聴児補聴器購入支援事業」により、県と市が助成しています。

教育長 ②聴覚障がいに係るデイジー図書やICT機器の活用については、今後研究してまいります。

## 18才選挙権について

来年夏の参議院選挙からすべての選挙に18才以上の男女に投票権が与えられ、将来の政策も若者の声を聴かなければなりません。

①今回の改正を受けて学校では、どのような主催者教育を行っているのか。

②教員だけでなく外部からの支援も必要ではないか。

③いつ頃実施されるのか。

教育長 ①政治的中立性を保ちながら、自ら判断する主権者を育成する教育の充実が期待されておりますので、趣旨を踏まえて対応してまいります。

②現在も関係機関等による様々な取り組みがなされていますが、今後も連携した支援が期待されます。



③小中でも学習の充実が図られますが、特に高校では喫緊の課題として取り組み組むこととなります。



渡邊 賢一  
議員

## スポーツ振興と生涯健康 長寿社会の充実について

①寒河江公園（長岡山）の都市計画マスタープラン見直しについて、座談会や意見公募等での内容がわかりづらい。夜間照明ひとつにしても「花に光を当てるのも大事だが、人間にも当ててくれ」との声が多い。自然エネルギーを利用し、施設の照明を設置してはどうか。

②陸上競技場、野球場の早期改修を要望する声が多いが、再整備計画ではどうするのか。

③村山地域唯一の平地にあるクワスクアントリコースを新設し、障がい者や高齢者も利用しやすいようにバリアフリー仕様で整備してはどうか。

④市民の健康づくりと生涯スポーツの振興について「ラジオ体操」などと併せて「市民歌のびのび体操」普及のため、防災無線の有効活用を検討すべき。介護予防と心身の健康づくりの実践に向けた具休策が必要ではないか。



スポーツの秋、ウォーキングで健康増進

教育長 ①スポーツ施設に太陽光などの自然エネルギーを活用した照明を設置することは、現時点ではコスト面などの課題が多いものと考えております。

②市陸上競技場の利用現状を考えれば、整備については一定の必要性も認められますが、これからの財政面などからの検討も必要であり、市民の声をお聞きし、今後の課題とさせていただきます。

市長 ②市野球場の整備などについては、スコアボードの新設などを予定しています。

③今後、いろいろなニーズをお聞きして研究していきたいと思っております。

④防災無線につきましては、運用開始から8か月が経過しており、様々なご意見をいただいておりますので、ご提案の件も含めて、今後いろいろな形で活用を考えてまいります。

また、身体障害者手帳の交付基準に該当しない、軽度または中等度の難聴児には、「軽度・中等度難聴児補聴器購入支援事業」により、県と市が助成しています。



内藤 明  
議員

マイナンバー制度の課題について

マイナンバー制度は、行政の効率化や行政手続きの簡素化というメリットがある一方で、個人情報への漏えいや、国による国民監視が進むとする不安や懸念がある。

利便性と危険性が、背中合わせになっており、以下について伺う。  
①制度導入による住民の具体的なメリットは。

②制度導入にあたっての国と市の全体での経費負担の内容は。

③法規定で、公益上必要があるとき、例外的に第三者に情報提供ができることされる。主に捜査機関等が想定されており、懸念する声があるが、自治体としての姿勢は。  
④その提供される情報は、個人情報保護委員会の権限も及ばないが、事務情報の範囲は。

⑤自己情報に適切に関与する権利（自己情報コントロール権）は、基本的な人権と考えられているが、それを維持する方策は。

市長 ①年金、福祉、税などの手続きで提出する添付書類がこれまで比べて軽減されるなど、住民の利便性の向上が図られます。

②住基・宛名システムと年金システム改修は全額、税および福祉関係システムは3分の2が国庫補助で、26年度は1700万円の事業費の内、市の負担額が約190万円となっております。

③番号法第19条で特定個人情報の提供の制限が規定されており、法令順守により適切に対応してまいります。

④情報の範囲は番号法第19条で、裁判や刑事事件捜査の場合等、第1号〜第14号まで規定されております。

⑤現行同様、通知等により確認可能で、29年1月からは個人番号カードにより、「マイナンバーポータル」のホームページから自分の番号の使用履歴が確認可能となります。



マイナンバーを取り扱う窓口



石山 忠  
議員

新第5次振興計画の評価と  
（仮）第6次振興計画策定について

①新第5次振興計画の総合評価および各章の最終年度までの目標の評価見込みについて、さらに施策の大綱66項目の目標と7つの「重点プロジェクト」の達成度について伺います。

②人口減少、超高齢化、少子化と地方は大きな危機にさらされていることから、振興計画策定には大胆な発想が求められている。

計画の構成、重点プロジェクトや到達目標の設定、計画策定の組織と市民参加、地方創生を進める中での将来都市像の設定は。

③重点施策、目標の達成度評価を受けて、新たな振興計画への反映策と、振興計画を上位計画とする多くの計画との整合性を図る見直しをどのように考えているのでしょうか。

市長 ①計画目標や重点プロジェクトの評価等については、最終年の途中で進行中ですが、概ね初期

の目的に近づいていると考えております。66の数値目標のうち、達成または達成見込みは42項目、残り24項目については達成に向けて鋭意取り組みを進めております。

②10年を計画期間とする「中長期ビジョン」および5年を計画期間とする「行動計画」の二層構成とし、重点プロジェクトも設定したいと考えております。計画は山大人文学部の是川教授を会長に、各界代表や有識者、公募委員等の20名で構成する振興審議会が将来都市像も含めて協議いただいております。

③時代のニーズを十分想定して新たな目標設定をしてみたいと考えており、計画の見直しについては、振興計画との整合性を図り、必要に応じて行ってまいります。



大胆な発想で将来都市像を描く



## 市民の声



泉町  
安孫子仁志さん

私たち一人ひとりが自分の満足度の評価基準を持っています。満足度は自分の期待と現実のバランスによって決まると思います。満足度が高いと感じることは、商品やサービスに対して期待していた通り、もしくはそれ以上の価値を感じることに。反対は期待を裏

切られたと感じるときです。例えば、窓口で目的を伝え予想の答えがあったときは、なんとすばらしいと感じます。

すべてではないものの違った場合、何だろう？プロじゃないの？とマイナスの満足度。

我が寒河江市の新第5次振興計画は最終年。満足度で現状とギャップが大きかった◎防災体制◎長岡山アケス道◎慈恩寺国史跡指定など、現状とのギャップを解消すべく、議会に期待します。

柴橋地区の真ん中で、高速度路と最上川に挟まれ、柴橋小学校がある200戸余りの、コンパクトな集落がおらがまちです。区の事業「花いっぱい運動」は、5月にそれぞれの家でプランターに花苗を植え、11月まで沿道を花で彩るもので、8月に審査し新年会で表彰しています。



金谷区長  
柏倉 隆夫さん

## 12月定例会の日程(予定)

- 11月30日(月) 本会議(議案上程、説明)
- 12月2日(水) 本会議(一般質問)
- 4日(金) 本会議(一般質問)
- 7日(月) 本会議(質疑)、予算特別委員会、各委員会・分科会
- 8日(火) 各委員会・分科会
- 11日(金) 予算特別委員会、本会議(採決)

※いずれも9時30分から開会します。

※日程は変更になる場合があります。

事務局(86-2111)にお問合せください。

## 議会の傍聴においでください

本会議を傍聴する際には、受付簿に住所氏名を記入の上、議場にお入りください。

議会の会議は原則公開です。

■12月定例会の請願・陳情の締め切りは  
11月24日(火)正午までです



金谷鶴寿会の皆さんによる花植え

これは平成10年度から始め、今年で18年目、きれいなまちと、優しい心を育む地域づくりを行っています。婦人層グループの金谷工プロンスクールは、発足から30年目となり、多様で、時代に即した教養講座を計画し、積極的に活動しており、区事業への女性参画の一役も担ってくれています。課題もあり、伝統芸能の金谷田植え踊りの、大人部門を、ぜひ復活させたいと考えているところです。

## 編集後記

9月に入ってからからの台風の影響による大規模水害、異常気象の文字に何かしらの恐ろしさを感じるようになってしまいました。

9月定例会は、地方創生先行型事業、まち・ひと・しごと創生事業に係る補正予算審議や好評を得ている住宅建築推進事業、中学校空調設備の設計等の補正、26年度一般会計、企業会計特別会計の決算審査等が行われました。

市議会だよりは、編集委員6人の手で試行錯誤を重ね編集しました。ご批評を賜れば幸いです。

皆様に、この「市議会だより」をもとに議会報告会にて詳細を説明できる機会を楽しみにしています。

収穫期が終われば寒さも身にしむ季節です。くれぐれもご自愛のほどお祈りいたします。

(工藤記)